

演題のメ切：平成 29 年 5 月 31 日（月曜日）

宛先：〒791-0295 愛媛県東温市志津川 愛媛大学大学院 先端病態制御内科学 愛媛プライマリ・ケア研究会事務局 熊木 天児

E-mail : masaben@m.ehime-u.ac.jp TEL : 089-960-5308 FAX : 089-960-5310

日時：平成 29 年 7 月 1 日（土） 午後 4 時 00 分～

場所：えひめ共済会館 4 F「豊明」 〒790-8587 愛媛県松山市三番町 5 丁目 13 番地 1 TEL089-945-6311（代表）

参加費：医師：1,000 円 薬剤師／研修医／コメディカル／学生：無料

特別講演：「広島大学での地域医療教育（仮称）」 広島大学医師薬学部地域医療システム学講座：松本正俊 先生

共催：愛媛プライマリ・ケア研究会／武田薬品工業株式会社

★3 「第3回日本PC連合学会四国ブロック支部ポータル発表会&交流会 in Kochi」開催報告 高知県立病院あき総合病院 森尾真明

平成 29 年 3 月 18 日、高知共済会館（高知市）にて、「第3回日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部ポータル発表会 in Kochi」（日本プライマリ・ケア連合学会後期研修プログラム責任者の会四国ブロック支部・高知大学医学部家庭医療学講座・高知県公営企業局県立病院課共催）が開催されました。

当日は四国四県より 38 名（専攻医含む）と多くの方にご参加いただきました。家庭医療専門医試験の申請に必要とされる形式でポータル詳細事例報告書を発表しました。徳島からは Skype を活用してポータル発表会を行いました。たくさんの専攻医や指導医からフィードバックやコメントを参加者全体で共有することができ、専攻医にとってもまた指導医にとっても学びの多いポータル発表会になりました。

2017 年度、四国では新たに 10 名の家庭医療専門医を目指す専攻医を迎えます。着実に専攻医数が増えてきており心強く感じます。来年は徳島で開催されることが確認されました。引き続き、四国四県で交流しながら、総合医・家庭医を盛り上げていければと思います。



〈ポータル発表者〉

- ①申輝樹（徳島県立海部病院）②安倍秀和（高知県立あき総合病院）③藤原匠平（愛媛生協病院）④山内紘子（高知大学医学部家庭医療学講座）
⑤大窪秀直（高知県立幡多けんみん病院）⑥佐々木宏樹（香川県立中央病院）⑦梶原綾乃（愛媛生協病院）⑧江田雅志（高知県立あき総合病院）

☆「ポータル発表会に参加して」専攻医 2 年目 愛媛生協病院 藤原匠平

身寄りがいない統合失調症の高齢女性が脳梗塞を発症して入院し、生物心理社会的アプローチの一環で患者さんの情報収集のために自宅訪問を行った事例を発表しました。質疑応答を通じて、多職種に対する理解や連携が課題だと気付いたので、今後の研修につなげていきたいです。

☆「ALL 四国でのポータル発表会」指導医 三豊総合病院 長谷川陽一

四国では都市圏と比較して専攻医も指導医も少ないですが、四国四県から専攻医・指導医が一堂に集まり、専攻医は各県の指導医から指導を受け、指導医も指導し学ぶ経験が得られ、ALL 四国で成長する場になりました。毎年開催され今年で 3 回目の専攻医ポータル発表会ですが、2 年前と比べて専攻医も指導医も人数が増えてきてわくわくします。去年まで専攻医側だった私も今年から指導する立場となりました。ゆくゆくは現在の専攻医が指導側となり四国内で良い学びの循環が生まれていくことを期待しています。

★4 香川プライマリ・ケア研究会開催のご案内

香川県・綾川町国民健康保険陶病院 大原昌樹

2017 年 9 月 3 日（日）13～16 時に香川県高松市の JR ホテルクレメント高松において、「香川プライマリ・ケア研究会」を開催します。香川プライマリ・ケア研究会は、医療福祉の 13 職能団体（医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会、栄養士会、臨床検査技師会、歯科衛生士会、介護福祉士会、ホームヘルパー協議会、介護支援専門員協議会）と県で構成されています。

今回、一般演題は、9 職能団体と香川県からの 10 演題が予定されています。香川プライマリ・ケア研究会は、この多職種の一般演題が特徴で、今回も在宅医療、リンパ浮腫、離島医療、口腔ケア、在宅医療・介護連携推進事業、介護人材の確保・育成、医療介護総合確保基金事業の評価などまさしく多分野の演題発表が予定されています。

また、特別講演には、神戸大学岩田健太郎先生をお招きして、プライマリ・ケアに役立つ感染症のお話しをしていただくことにしております。

他県から参加も可能です。その際は、大原 (oharamasaki@gmail.com) まで御一報ください。

★5 徳島大学病院に総合診療部が開設

徳島大学病院総合診療部 谷憲治

この度、徳島大学病院に総合診療部が開設され、平成 29 年 4 月 1 日付で谷憲治が部長・教授に就任いたしました。総合診療部では、病院を受診する患者さんの年齢・性別や臓器、疾患の種類を限定せず、総合診療医を中心とした医療チームで総合的に診療します。そして、必要に応じて専門各科、地域の医療機関、介護・福祉・保健サービスなどと連携しながら一人一人のニーズに応じた基本的な医療を提供いたします。

平成 29 年 6 月より徳島大学病院において総合診療外来を開始いたします。対象患者としては総合診療を必要とする患者とし、具体的には以下になります。

- ・ Common disease (ありふれた病気) を持つ患者さん
- ・ 診断がついていない初診患者さんに対する初期診断・初期治療
- ・ 症状から受診すべき専門診療科が特定できない患者さん
- ・ 複数の治療を要する病気を合併している高齢者等
- ・ 臓器の枠にとらわれない診療を必要とする患者さん
- ・ 精神的・社会的要素など複雑な要因の関与が推測されるケース

また、徳島大学大学院の講座である総合診療医学分野の活動も継続し、講座スタッフとともに総合診療医・家庭医の卒前・卒後教育を含めた育成にも努めて参ります。引き続きご指導ご支援よろしくお願いたします。



★ 6 第17回日本PC連合学会四国地方会/第24回四国地域医学研究会 合同学術集会の開催について

大会長 佐野 良仁 (佐野内科リハビリテーションクリニック院長)

大会事務局長 澤田努 (高知医療センター総合診療科)

時下 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。毎年、四国四県持ち回りで開催されてきました本会であり、今年は高知において開催する順番となりました。

さて、高齢化の進む日本では疾患も複雑になり、一人の患者さんが多数の疾患を併せ持つようになってきました。新しい専門医制度では総合診療医が19番目の基本専門領域専門医となることも、時代の流れと共に求められている医療となって来ていることの証と言えるでしょう。専門分化した医療の方向から総合的に診療して、診断・治療をしていくことが求められてきています。さらには、疾患管理だけでなく、社会の構造変化、家族構成の変化も伴って、地域の社会資源も利用しながら、協働して高齢者・障害者を支えていく時代に突入しています。総合診療専門医の育成には、そのような視点とスキルを持った若き医師の育成が期待されています。

このような現状を踏まえて、今回の日本プライマリ・ケア連合学会四国地方会、四国地域医学研究会 合同学術集会では、自治医科大学 地域医療学センター総合診療部門教授 松村正巳先生をお招きし、「地域を診る医師を地域で育てる～地域全体を俯瞰する総合診療の視点～」をテーマとして、基調講演をいただく予定としました。

また、基調講演の後に、例年とは少し趣を変えた方法で、ともに学習を深める研修会を予定しております。5年前に開始した臨床推論ケースカンファレンスを少しアレンジして、スキルアップハンズオンセミナーとリンクした形で、臨床推論の中で実際にグラム染色実習を組み合わせたいと思います。総合診療医として、様々な疾患を想起したうえで、診断に迫る過程の検査も実際に行ってみて実臨床さながら、考察も含めて診断に迫る過程と治療方針の決定を共有したいと思います。

地域でプライマリ・ケアを担っている医療者、多職種の方、大学関係者、医学生など多くの方々にご参加いただき、充実した会にしたいと考えております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

1. 日程：平成29年11月18日(土曜日)・19日(日曜日)
2. 場所：高知医療センター <http://www2.khsc.or.jp/> 〒781-8555 高知市池 2125-1 (右記)

3. プログラム (予定)

★ 平成29年11月18日(土曜日)

- 14:00 開会 (13:30 受付開始)
- 14:15 基調講演「地域を診る医師を地域で育てる～地域全体を俯瞰する総合診療の視点～」
講師：松村 正巳 先生 自治医科大学 地域医療学センター総合診療部門教授
- 15:40 臨床推論ケースカンファレンス+スキルアップハンズオンセミナー
臨床推論の中で実際にグラム染色実習を組み合わせ、参加された皆さまと一緒に症例検討会・討議を行います。総合診療医として、様々な疾患を想起したうえで、診断に迫る過程の検査も実際に行ってみて、実臨床さながら、考察も含めて診断に迫る過程と治療方針の決定を共有したいと思います。
- 18:30 懇親会：オリントホテル高知 URL：<http://www.orienthotel.jp/index.php> 〒780-0861 高知市升形 5-37 TEL：088-822-6565



★ 平成29年11月19日(日曜日)

- 08:30 学会認定家庭医療専門後期研修医によるポートフォリオ発表会
- 09:30 一般演題
- 12:30 次回開催挨拶、閉会、
- 12:30 日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部総会 (～13:00)
- 13:00 日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部役員会 (役員のみ)

4. 会費 大会参加費：1,000円（医師・歯科医師） 無料（研修医、学生、他職種）
 懇親会：5,000円（医師・歯科医師） 3,000円（研修医、他職種） 無料（学生）
5. 単位 日本プライマリ・ケア連合学会認定医更新単位（4単位：予定）
6. 参加申し込み 大会参加の事前申し込みは不要です。
 ※懇親会は事前申し込みが必要です。10月14日（土）までに下記連絡先（学会事務局）にお知らせください。

7. 一般演題募集要項

- (1) 内容はプライマリ・ケアに関するものであれば可能
- (2) 発表時間は質疑応答を含め、1題7分を考えていますが演題数により調整させていただきます。
- (3) 演題の採否については、事務局で検討の上決定いたします
- (4) 発表形式 口演発表を全てパソコンによるプレゼンテーションとさせていただきます
 WindowsのPowerPoint2003以上で作成したデータに限り使用可能。データはEメールに添付または、ファイル送信ソフト（firestorage・宅ファイル便等）利用にて事務局まで送信下さい。CD-RまたはUSBメモリ等に保存して郵送可です。締切11月11日（土）必着。
 ※Macintoshの場合、ご自身のパソコン本体をお持ち込み下さい。（電源アダプタとD-sub mini15ピンへの変換コネクタが必要な機種はそれらの備品もご持参ください）

(5) 演題申込み

演題名、所属、演者、共同演者、抄録内容(約600字)を作成の上、下記事務局までE-MailまたはFAXにてお申し込みください。

(6) 演題申込み締切り 平成29年9月25日（月）

(7) 日本プライマリ・ケア連合学会会員以外の方でも応募は可能です

8. 大会参加・演題発表に関する申し込み先

第17回日本プライマリ・ケア連合学会四国地方会、第24回国地域医学研究会 合同学術集会事務局
 高知医療センター総合診療科 澤田 努(さわだつとむ)
 〒781-8555 高知県高知市池2125-1 TEL 088-837-3000（代表） FAX 088-837-6771 E-Mail: pc4shikoku@gmail.com
 大会事務局ホームページ: <http://www2c.biglobe.ne.jp/~t-sawada/sikokupc.htm>

★7 第8回日本PC連合学会学術大会について御礼(★1の続き)

第8回日本PC連合学会学術大会長 板東浩

このたびの学術大会については、四国支部の実行委員誰もがいろいろなシンポジウムや企画に関わって下さいました。四国ブロック支部を挙げて長期に準備を進めたことにより、お陰さまで役割を果たすことができましたと存じます。誠にありがとうございました。衷心より御礼を申し上げます。

日本プライマリ・ケア連合学会の活動の中で、小さな四国支部が学術大会を担当することができたのは、今まで四国支部における皆様のご理解ご協力によるものであります。その1つが四国支部論文集であり、毎年発行して参りました。私がお伝えしたいことに1つとして、オーケストラ医学があり、PC医とは指揮者でありコーディネーターの役割を有するものと思います。

本学術大会の実行委員の方々に重ねて御礼を申し上げ、ご報告とさせていただきます。感謝。

http://www2.c-linkage.co.jp/jpca2017/wp/wp-content/uploads/2017/05/slide_20170524.pdf

四国支部論文集No.6~10

オーケストラ医学でシンフォニーを奏でる

Symphony = Sym(共に)+ phone(音)
 Symposium = Sym(共に)+ posis(飲む)
 一緒に酒を飲み語り合う

PC医は指揮者 世話役の役割

日本PC連合学会第8回学術大会

四国は小さな支部 オール四国で
 長年皆で仲良く 準備し開催。

副大会長

実行委員

豊川 聖雄 香川大学医学部 血液・免疫・感染症内科	藤村 好孝 徳島大学医学部 徳島県保健福祉部	水村 正孝 丸の内大学医学部 高知県保健福祉部	伊藤 達人 小豆島中央病院 血液内科	白川 光雄 海陽町保健福祉部	高野 実祐 愛媛大学医学部 内科	藤田 真一郎 徳島大学医学部 高知市立中央病院 高知市保健福祉部	村山 善紀 竹山内科医院	藤原 安孝 高知大学総合診療部	中津 守人 三豊総合病院 地域医療部	松本 孝和 松本病院 泌尿器科	夕郎 寛三 いずみ病院
大塚 伸之 高知大学医学部 高知市立中央病院	川上 和雄 徳島大学医学部 徳島県保健福祉部	久保 文芳 小豆島中央病院 内科	佐野 圭一 徳島大学医学部 高知市立中央病院 高知市保健福祉部	米長 義則 徳島大学医学部 高知市立中央病院 高知市保健福祉部	武内 昌生 高知大学医学部 高知市立中央病院 高知市保健福祉部	藤原 真治 徳島大学医学部 高知市立中央病院 高知市保健福祉部	森尾 真明 高知大学医学部 高知市立中央病院 高知市保健福祉部	藤川 正昭 高知大学医学部	西村 真紀 高知大学医学部 高知市立中央病院 高知市保健福祉部	松下 雅英 高知大学医学部 高知市立中央病院 高知市保健福祉部	横井 敬 徳島大学医学部 徳島県保健福祉部
加藤 正隆 かとうクリニック	水野 孝孝 徳島大学医学部 高知市立中央病院 高知市保健福祉部	坂本 文昭 徳島大学医学部 高知市立中央病院 高知市保健福祉部	坂野 謙吾 徳島大学医学部 高知市立中央病院 高知市保健福祉部	杉山 圭三 愛媛大学医学部 高知市立中央病院 高知市保健福祉部	谷 康治 徳島大学医学部 高知市立中央病院 高知市保健福祉部	本田 壮一 徳島大学医学部 高知市立中央病院 高知市保健福祉部	山口 治隆 徳島大学医学部 高知市立中央病院 高知市保健福祉部	千田 彰一 徳島大学医学部 高知市立中央病院 高知市保健福祉部	二宮 大輔 愛媛大学医学部 高知市立中央病院 高知市保健福祉部	村上 昌司 愛媛大学医学部 高知市立中央病院 高知市保健福祉部	

**関係者の皆さまに
 深謝します**